

市長（作野広昭君）

文化財の文化的活用に向けてどのように公開・活用されてきたかという質問ですが、博物館では青木家文書展、呉竹文庫では白山市指定文化財展などの企画展示を実施しているほか、毎年2月に開催している東二口文弥まつりや加賀白山の獅子舞演舞大会、白山市文化協会によるわがまちの民俗芸能まつりなどの公開事業を開催し、市内外から多くの方に御来場いただいています。

また、聖興寺本堂などが登録有形文化財に登録された際には、専門家の解説を交えた見学会を行うなど、所有者の協力を得て公開・活用を図ってきたところです。

今後の公開・活用に向けた取り組みについてですが、合併10周年記念事業として本年9月に人形浄瑠璃まつりを開催し、尾口のでくまわしと佐渡の人形芝居の競演を行うこととしているほか、白峰重伝建町並みめぐりや文化財探訪ツアー、子供たちがふるさとの歴史を学ぶ場として古代体験教室を開催するなど、文化財の積極的な公開・活用に努めてまいりたいと考えております。